

<司令官ケネス・メイナー大佐の2020年10月18日のビデオメッセージ>

祈りの実を結ぶ8週間の3週目のテーマは「明け渡す」です。今の時代、明け渡すという言葉は、なかなか受け入れられないと思います。自分の権利を主張して手放さない人が多いからです。しかし実は、わたしたちは毎日なにかしら明け渡しているのではないのでしょうか？飛行機で旅行するとき、座席に座り、シートベルトを着け、機長と客室乗務員の指示にしたがって、飛行中に何が起ころうとも、すべて任せなければなりません。それは、地下鉄に乗る時も、病院で診察を受けて医師から処方された薬を飲む時も、同だと思います。わたしたちは相手を信頼して自分を明け渡すことをしているのです。「明け渡す」とは、降参する意味だと受け取られがちですが、神に自分を明け渡すことは、決して敗北ではありません。むしろ、勝利への道なのです。パウロはローマ12:1で「こういうわけで、兄弟たち、神の憐みによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です」と述べて、神に明け渡すことこそ、豊かな生活の秘訣であると示しています。神に明け渡す時、神があなたの人生の主導権を取ってください。具体的には、あなたの心と身体と意志を神にお献げする、という意味です。心を神に明け渡すとは、心をいつも聖書の御言葉で満たすことです。そうするなら、生活の中で言葉をやりとりする場面で、いつも神の言葉が第一となり、あなたの心は整えられて行きます。身体を神に明け渡すとは、神の聖さをおぼえながら、生活の中で正しい選択をすることによって、あなたの身体が神の栄光を現すようになることです。意志を神に明け渡すとは、自分の願いや計画ではなく、神のご意志に従って行くということです。その結果、神はあなたの人生を豊かに祝福してくださいます。神に自分を明け渡すことに躊躇を覚える方もいるでしょう。しかし、もしあなたが悪習慣を持っているなら、それを神に献げてください。神がそれを取り除いてくださいます。もしあなたが不健全な人間関係を持っているなら、それを神に献げてください。神は最善を行ってください、豊かな命を受け取ることができるようにしてくださいます。なぜなら、神は慈愛に満ちたわたしたちの天の父だからです。明け渡すことは決して簡単ではありません。しかし、明け渡すなら、あなたは神の勝利者となることができます。